○子育てをする方への妊娠期から継続した支援［目標１-１-施策（１）］

産後ケア事業

出産後のサポートが必要なお母さんが、赤ちゃんと一緒にケアを受けられます。医療機関・助産院で休息、授乳・育児などの指導や助産師のケアを受けられる宿泊型・日帰り型と、助産師に訪問してもらいご自宅でも相談やアドバイスが受けられる訪問型があります。

	2024年度	2025年度
医療機関等	17施設	19施設
訪問員	18名	20名
利用申請数	1,357件	1,447件

施設拡充とともに認知度の向上を図る

- 医療機関・訪問員数が増加
- 妊婦面接や新生児訪問等での制度周知が浸透
  （事業の把握場所アンケートで半数以上を占める）



【保健予防課 母子保健担当】　２０２５年度事業実績 ②

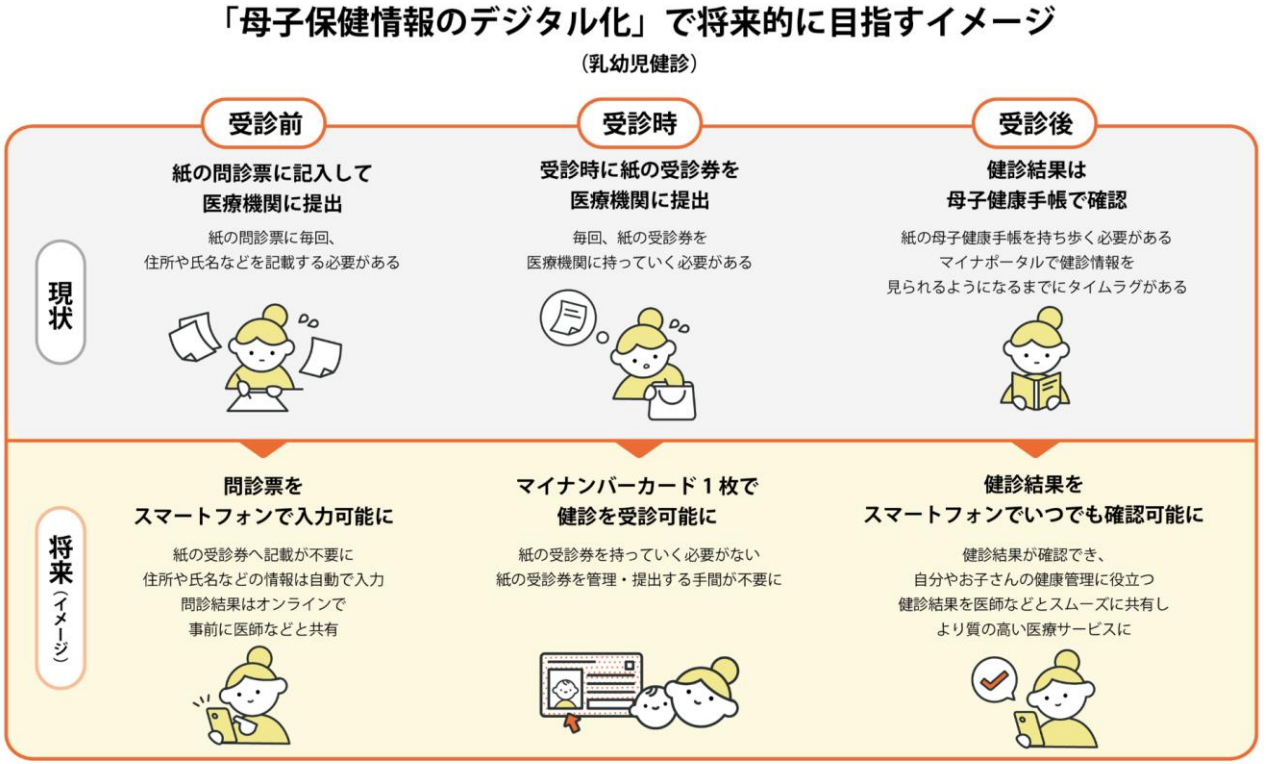
○乳幼児の健康の保持及び増進　　［目標１-１-施策（２）］

乳幼児健診のデジタル化

鶴川保健センターで先行実施
（2025.2～）

▼

マニュアル作成・職員研修
（他自治体の視察や
医師会との協議）



○　歯と口の健康づくり［ 目標１-２-施策（２）］

ライフステージに合わせた歯科保健情報の発信



＜ＳＮＳによる情報提供＞



＜市庁舎イベントスタジオ展示普及啓発ポスター＞

【保健予防課 歯科保健担当】　２０２５年度事業実績 ③－２

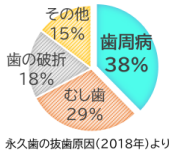
○ 歯と口の健康づくり　［ 目標１-２-施策（２）］

働き世代のみなさま



１年に１回以上 歯科健診を受けていますか？

成人が歯を失う原因の1位は歯周病　　2人に1人が歯周病



永久歯の抜歯原因(2018年)より

成人の約半数に4mm以上の歯周ポケットがあります

20代から50代、とくに男性の歯科健診の受診が少なく、
またその世代から歯周病の割合が増加しています！

歯周病が悪化すると・・・



こんな症状が出てきます！

- ✓ 口臭が気になる
- ✓ 歯がグラグラする
- ✓ 歯並びがガタガタになる

全身にも関わっています！

糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化などの全身の病気にも影響することが分かっています。

歯周病は、自覚症状がほとんどなく、気づかずに悪化することが多いです

歯周病予防のために大事なこと

セルフケア
毎日の歯ブラシに
「歯間ブラシ」や「フロス」も！

×

プロフェッショナルケア
歯科医院でのクリーニング！
セルフケアでは取り切れない
汚れや歯石を除去する

歯周病を防ぐには、年1～2回、歯科医院での定期チェックが大切です！

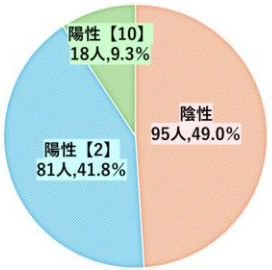
【裏面】 歯科健診のご案内

＜成瀬総合体育館　チャレンジマッスル掲示物＞

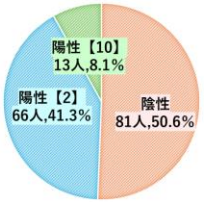
簡易スクリーニング検査の結果

簡易スクリーニング検査結果は、全体では51.0%の方が陽性となった。
また男女別では、男性が58.8%、女性が49.4%と男性の方が陽性の割合が高かった。

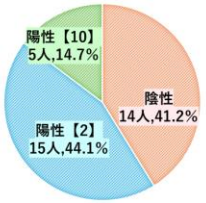
<全体> n=194



<女性> n=160

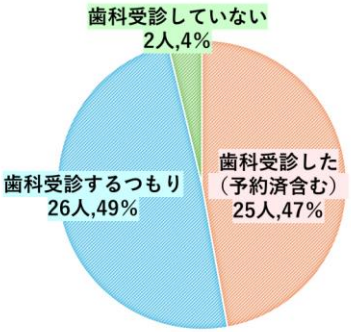


<男性> n=34

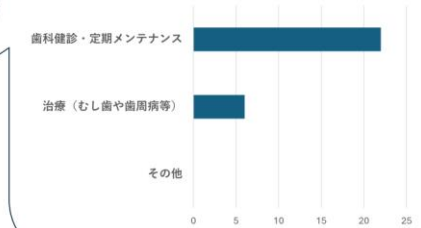


無回答者を除き、簡易スクリーニング検査実施後に歯科受診した方（予約済も含む）は47%、その受診目的は歯科健診・定期メンテナンスが80%であった。

◆◆受診状況◆◆ n=53



◆◆受診、予約した目的◆◆ n=25



＜厚生労働省　モデル事業＞

【保健予防課 母子保健担当】事業総括：2026年度に向けての課題や目標 等

【妊娠・出産・子育てを支えるまち】　　［ 目標１-１-施策(1)(2) ］

- 伴走型相談支援と経済的支援（出産・子育て応援交付金事業）を一体的に実施することで、対象者のほとんどの方に妊婦面接や赤ちゃん訪問を行うことができました。
- また、産後ケア事業においては、施設の増加だけでなく既存施設等での受け入れ枠を拡大することで、利便性の向上を図るとともに周知を図りました。
- 2026年度も引き続き、子育てをする方への切れ目ない支援を推進していきます。

【からだの健康を支えるまち】　　［ 目標１-２-施策(2) ］

- 町田GIONスタジアムでの電光掲示や、ペデストリアンデッキでのポスター掲示、二十祭まちだや、夏休みこどもフェアーチャレンジマッスルへのブース参加などで、歯と口の健康づくりに関する情報提供を行いました。
- 厚生労働省のモデル事業に参加し、乳幼児健診に来られた就労世代の保護者に対し「簡易歯周病検査」を行い歯科受診に向けた啓発を行いました。
- 2026年度も引き続き、ライフステージに合わせた歯科保健の情報提供を推進します。

【保健予防課 母子保健担当】 2026年度事業計画及び進捗状況

１．子育てをする方への妊娠期から継続した支援　［ 目標１-１-施策（１）］

国や都の制度を活用しながら、引き続き、妊娠期からの切れ目ない支援を推進していきます。

２．乳幼児の健康の保持及び増進　［ 目標１-１-施策（２）］

引き続き、年齢に応じた健康診査（集団）を実施し、乳幼児の健康状態、発育、発達面を確認していきます。

３．歯と口の健康づくり　［ 目標１-２-施策（２）］

生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを図るため、ライフステージごとの特性を踏まえた歯科口腔保健情報を発信していきます。